



夏の夜の不思議

私が幼い頃、実際にこの目でとらえ、経験した異様な出来事を、思い出しながら書きつつ書いてみます。

私は大正7年、下屋敷の農家に生まれました。この話は昭和の初めごろで、私が8歳か、9歳ごろのことです。

その年の夏は大変な干ばつで、長い間、雨一つ降らないばかりか、くる日もくる日もかんかん照りが続きました。ちょうど田植え時でしたが、水不足で、どこの農家も田植えが出来ず困り果てていました。高鍋の人々は水を求めて、田んぼのあちらこちらに井戸を掘るやら、雨ごいのお祈りをするやらで、その年の農民の苦しみは大変なものでした。

そんな日のある晩の9時ごろ、私ども家族は、暑くて眠れないままに涼を求めて庭先の涼み台に腰をおろし、にぎやかに話し合っていました。と突然に、※現在の富山キヤノン株式会社の方角現在の南九大の方の山が急にぱーっと明るくなったかと思うと、なんとおぼん位の大きさでオレンジ色の火の玉が現れたのです。

私ども家族は一樣にびっくりして、声一つ出すことが出来ません。

私どもはまばたきもしないで、じっと見つめていますと、その火の玉は静かに動き始めましたが、やがて、ややスピードを上げながら山の中腹を西の方へと飛んでいきはじめました。それから当時、高鍋のシンボルだった二本松のところまで飛んで行き、高い松の枝に止まると、火事にでもなる様な真赤な火の粉を散らすのです。やがて、又もや動きはじめ、西の方へスーッとスーッと飛んでいくのです。

あっけにとられた私どもはおも火の玉を追いつづけていますと、神祭野こぜのの坂の上を西へ飛び、人家近くの杉林にひっかかり、又もや火の粉をまきちらして、こんどは雲雀山の方へと飛んでいったのです。

うしろ





この火の玉を見た人はほかにもたくさんいたもので、たちまちのうちに大評判になり、町中をさわがせました。

ところが、火の玉が飛んだ同じ時刻に、こっそりと自分の田んぼだけに水を引き入れていた男がいて、火の玉はこの男に近づいたかと思うと、頭すれすれにぐるぐると回りつづきました。男はびっくり仰天し、ぬけた腰をガクガクさせながら、やっとの思いで家に逃げ帰ったということです。帰って帽子をとって見ますと、帽子が真黒にこげていたのです。男は2度びっくりしちぢみあがりました。

男は、ひきょうなふるまいをはじて、2度とこの様なことはしなかったということです。

又、その火の玉は雲雀山地区をぐるりと1周し、途中木の枝にひっかり火の粉を飛び散らしながら、熊野神社、ごまさんの森の中へと消えていったそうです。

昔は、毎年9月1日の「ごまさん」のお祭りには薪を組み火をつけてお祈りがあり、やがて燃えきった薪は炭火となりますが、その炭火をかきひろげて、その上をはだして渡る神事がありました。現在も行われているのでしょうか。

雨水をこい願う農民の祈りが火の神様をさそい出したのでしょうか？ よこしまなことをしている人へのいましめもあったのでしょうか。ほんとにびっくりした火の玉でした。

それから数日後、恵みの雨がたくさん降り、水に難儀していた農家もようやく田植えをすることが出来ました。

60年も以前の出来事ですが、まだ現在でも私の脳裏にやきついてはなれず、昨日のことの様に思い出されます。

少女のころの怖い、怖い、思い出話の1つです。

(採話 馬場原 後藤ミドリ)



火の玉のお話もうひとつ・・・

火の玉

ある初夏の夜、母が町の立光呉服店へ買物に行くのについて行った時のことです。

買物を済ませて家に帰ろうとし横町の町はずれに出た時、母が「あら、二本松の上ん火は何の火じやるかいね。あすこ辺に明りが付いちよるはずはないしね」といって早足に歩き始めました。当時私は7、8歳位だったでしょうか。

たんぼ道の中程位に来た時母が「だんだんこっさね近寄って来るごつあるもんね」といいました。私も「ほんとじゃ」とは思ったのですが、子供のこととて別に気にもしていませんでした。

ところが母は「急げ雨が降り出すといかんかり急げ」としきりに言うので小走りについて帰りました。

帰ってからの母の話に「だんだんと火が近寄って来る気配がするので気味悪くなり火を見ないようにして急いだ」のだそうです。道具小路の村の入口近くに来たとき、ふと見たらだいたい近くで田の面が明るくなっていたので怖くなり、でも私に教えると騒ぎ出すと思ったので、「雨は降りそうにもないのに」「雨が降り出すと困るから急げ急げ」と言ったのだそうです。

(採話 道具小路南 松岡美也)



たかなべ 伝・伝 Returns

令和4年3月発行の「たかなべ 伝・伝 Returns VOL・10」で「一旦終了していましたが、『たかなべ 伝・伝』にはまだまだ数多くの魅力的な物語がつづられており、今年度も定期的に皆様に新たな物語をお届けいたします。今回は8月と言う事で「夏」にちなんだ物語をセレクトいたしました。皆様にお楽しみいただけると幸いです。

『たかなべ 伝・伝』に集録されている全話やReturnsは、こちらからアクセスしてご覧いただけます。

